



想定内の県予測

漁師冷静

「資源量がほとんどない状況」ハ

ある出席者は「今取れている（他の）魚を売るための話し合いをした方がいいのでは」と発言。一方で資源しげん

八峰町八森の60代漁師は「底引き」

漁で取れるのは大きな魚体ばかり。小さいのがないので、今後さらに取れなくなるのでは」と話す。

男鹿市北浦地区でハタハタ漁を続けて50年以上の大坂谷忠義さん(71)は「3、4年前くらいから一気に漁獲量が減った気がする。近年はもう、来ないもんだと思って船を出していたから県の予測に驚きはない」と話す。

その一方で「12月にハタハタ以外を狙うとしても、他の魚も取れなくなっている。船の保険などで毎年数十万円は経費がかかるし……」とも。見通しが悪くても「今年こそはという思いは消えない。だからやれるだけやるしかない」と力を込めた。

※【投資】もうけるために、ろりよく労力やお金をかけること。

別の魚種模索も募る不安

条件

- 具体的な年末年始の行事や習わしについて書くこと。
- 百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。
- ◆の印から書き始め、改行をしないで続けて書くこと。

[illegible]